

1. 1 「共創郷育：やまと再構築プロジェクト」の概要及び各校の役割

(1) 「共創郷育：やまと再構築プロジェクト」の概要

奈良県南部地域は、人口減少が全国平均速度の倍の速さで進行しており、若者の人口流入施策が必要である。また、奈良県は県外就職率 28.8%と全国 2 位であり、製造業従業者数も全国 36 位、製造業出荷額が全国 35 位という状況で、地域ものづくり力が脆弱であるといった課題を抱えている。

「共創郷育：やまと再構築プロジェクト」は、こうした課題解決に向けて奈良女子大学が基幹校となり、奈良工業高等専門学校と奈良県立大学を参加校として推進している。奈良女子大学内に「やまと共創郷育センター」を設置し、奈良経済同友会などの県内企業ならびに奈良県と連携する体制を整え、教育プログラム、就職支援プログラムの整備、拡充を進めてきた。

COC+3 校は、教育・研究資源を活かした授業科目を学生に提供し、さらに、単位互換制度や、各校が開講する授業科目への教員の相互派遣を通じて、それぞれの強みを共有している。地域とのつながりを強くした教育プログラムを通じて学生の視野を広げ、興味や関心を触発することによって、地方創生に対する多面的な思考力と行動力を高め、多様な地域人材を輩出し、一人でも多くの学生が奈良県に就職することを目指している。



「共創郷育：やまと再構築プロジェクト」概要

(2) 各校の役割

奈良女子大学は事業全体を円滑かつ効果的に実施できるよう努め、特に、県南部の自治体とともに地域の活性化を図っている。奈良工業高等専門学校は、工学系専門分野から県内企業・自治体のニーズに対応して企業製品の機能改善や新製品開発に貢献し、企業業績の向上による雇用増を図っている。奈良県立大学は、観光学等の視点から観光や商店の活性化等に取り組んできた実績を活かし、県内就職先の開拓を図っている。

奈良女子大学	COC+3校の取りまとめを行い、事業が円滑に実施できるよう努める。奈良県、特に県南部の活性化を地域自治体とともに図る。教育プログラムにおいて地域志向科目を拡充し、学生には地域に根差した教育を施し、県内就職者を増やす役割を担う。
奈良工業高等専門学校	奈良県内唯一の工学系の高等教育機関として、他の大学にはない分野の教育面で地方創生に貢献する。奈良県内企業からのニーズに対応、企業とのパイプを増やし、企業製品の機能改善、新製品開発による企業業績の向上による雇用増に結び付ける。
奈良県立大学	地域創造学部を擁する大学として、観光や商店の活性化等の観点から地域の活性化に取り組む。同時に、奈良女子大学及び奈良県立大学生の県内就職支援ならびに県内就職先の開拓を行う。
参加自治体	学生が地域に入り地域の課題発見・解決能力を身につけるPBL型授業の実施に協力し、地域創生を担う人材の養成に寄与する。また、就職情報、県内企業の情報の提供を行う。
参加企業	ゲストスピーカーとして授業への参画、企業説明会への協力、学生とOB・OGとの交流会、企業（会社）見学会への協力、インターンシップの受け入れ拡充、企業トップによるビジネスマインドの醸成や起業などにかかるノウハウ等の提供を行う。
奈良佐保短期大学（協力校）	社会の重要な課題と関連する生活福祉・食物栄養コース等を有しており、COC+参加校である奈良工業高等専門学校の介護用ロボットの試作等に対する実践的な情報提供等の協力を行う。